

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	美しい村づくり推進事業
事業主体 (連絡先)	原村 長野県諏訪郡原村6549番地1
事業区分	①環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,514,120円 (うち支援金: 391,000円)

事業内容

「原村で暮らす」をテーマに美しい村づくり推進委員が講演会やコンテスト、視察などを企画立案し、事業を進めることができた。

- ①推進委員会主導による委員会の開催
- ②小口良平氏の講演会・トークセッション開催
- ③フォト等コンテスト実施 表彰式開催
- ④県外においてPR・移住相談の際のPR活動



小口良平氏講演会

事業効果

①美しい村づくり推進委員会を述べ12回程度開催し、村づくりや事業を検討できた。②推進委員主導で講演会・トークセッションを企画立案、開催し原村に暮らす意味などについての考察や意識づけができた。参加数80人③コンテストはフォトに加え、ポスター・文芸作品部門を設けたことで幅広い年齢層から応募があり、中学生や東京の大学の関わりは住民から大きな反響を得ることができるとともに格学校におけるPR促進にも一役買うことができた。応募者数96人 講演会当日の参加者が審査員となり、お気に入りの一票を加え入賞者を決定した。入賞者を対象に表彰式を開催。連合のフォトコンテストの巡回写真展を村役場のロビーで実施。原村だけでなく、加盟町村の美しいフォトを見ようと多くの人が来庁。連合の美しい村活動を紹介するのに合わせ、村の取り組みもPRできた。③④ポスターや村の風景のテーブルクロスを作製。移住相談会や物産展等イベントに使用し、様々な場面でのPR効果が期待できた。

【目標・ねらい】

- ①住民が「美しい村づくり」を考察し、自ら取り組む機会とする。
- ②住民及び村内外への美しい村づくり推進啓発及び周知による住民意識の向上

※自己評価【 B 】

【理由】

- ・住民主導で事業を展開できた。
- ・コンテストは中学生から一般、東京の学生まで参加できる機会を設け、美しい村を考えることができた。
- ・PRがまだ十分でない。
- ・住民への活動が今一つ広がらない。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

平成28年「美しい村づくり推進委員会」設置し事業に取り組んでいますが、環境・景観・教育・文化・産業・観光・移住と検討事項が幅広く、講演会とコンテスト・PRに絞っての活動が主となりました。来年度は、これまでの事業をさらに充実させ、より多くの住民に広がりを持たせる活動につなげます。また、美しい村づくりを推進するPRについては、まだまだ足りないとの意見があるため、機会があるごとに様々な手段を使ってPRしていく予定です。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

(別記様式第12号) (第3の8関係)